

いしづち

2021.7

JULY

No.141



公益社団法人 愛媛県建築士会

Ehime Society of Architects & Building Engineers

<http://www.ehime-shikai.com>

世界建築紀行 中国タクラマカン砂漠のオアシス探訪・西域南道
委員会報告
支部報告



1	世界建築紀行	中国タクラマカン砂漠のオアシス探訪・西域南道	西予支部 松山 清……①
2	委員会報告	文化財・まちづくり委員会 女性委員会より報告とお知らせ 「いしづち」編集委員会よりお知らせ	文化財・まちづくり委員会 委員長 峰岡 秀和……⑦ 女性委員会 委員長 近藤 佳代……⑧ 広報委員会 委員長 大平 将司……⑨
3	支部報告	今治支部総会報告及び活動計画 松山支部より	今治支部 支部長 森 昇平……⑩ 松山支部 支部長 花岡 直樹……⑪
4	けんちくの輪	振り返って思うこと	松山支部 宇崎 佑……⑬
5	お知らせ	第1回書面理事会概要報告	事務局……⑭

※尚、表紙及び本誌記事の無断転載を禁じます。

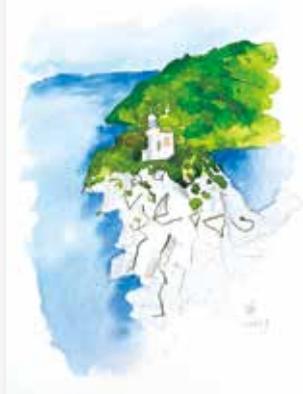
水彩画

題：「佐田岬灯台」

[表紙画について]

(西宇和郡伊方町)

佐田岬灯台は愛媛県西宇和郡伊方町、四国西端に突き出た佐田岬半島の先端に建つ灯台である。(ウィキペディアより)



表紙作者 上田 勇一 プロフィール

- 1974 東京生まれ
- 1980 小学校から高校まで松山在住
- 1990 東日本建築教育研究会製図コンクールにて奨励賞
- 1991 愛媛県内高校生建築競技設計にて会長賞
(愛媛県建築士事務所協会主催)
- 1993 画家・高橋勉氏に師事。約10年間、古典絵画技法全般を学ぶ
- 1996 日本工業大学建築学科 卒業
- 1998 画家として活動開始する。東京や埼玉にて毎年個展開催
- 2002 日本ファンタジーノベル賞受賞作者「世界の果の庭」
(新潮社)の装丁担当
- 2003 美術家の登竜門である昭和会にて優秀賞(東京/日動画廊)
- 2010 愛媛県美術館に作品「ドライフラワー」收藏される
- 2015~17 愛媛新聞 冊子アクリート表紙画連載
絵画教室やオリジナルブランド額工房「櫛リチェルカ」を設立
- 2017 「えひめの塗り絵」を出版
その他、出版装丁画や受賞多数、全国にて個展中心に活動。
現在、現代日本美術会 会員/審査員

中国タクラマカン砂漠の オアシス探訪・西域南道

西予支部 松山 清

1 "ANAマイル"が西域カシュガルへのパスポート

2018年春、地球で海から一番遠いトルファン、ウルムチを観光した後、空路タクラマカン砂漠南縁のシルクロード西域南道のホータンへ向かいました。砂漠を陸路でも移動できますが、日本と違い列車もバスも押し合いへし合いの大混雑で、切符購入も戦争のような争奪戦です。そして、例え指定席切符が買えても、ギュウギュウ詰めのため座れるかどうかわからないのが中国の列車事情。飛行機の特典航空券では、松山から中国最果てのカシュガルまで往復2万マイルで行けます。東京往復が1万5千マイルなので、マイルを使うと超お得で、今の仕組みでは現地までの交通費は東京へ行くのに少し足したくらい。一手間かければマイルは色々な所への旅の可能性が広がり、それを探求するのも旅の大きな楽しみです。



▲タクラマカン砂漠を越えてパミール高原へ



▲日本の街と変わらない
ホータン中心部



郊外に整備された水路▶

2 オアシス、ホータン (和田)

2.1 砂漠の中とは思えない街

朝、ウルムチから中国南方航空便でホータンまで、タクラマカン砂漠を北から南へ縦断。晴れていたので空から見るタクラマカン砂漠とオアシスの景色を期待しましたが、砂漠の上空には砂塵が舞い上がっていてホータン到着寸前まで視界ゼロ。いきなり滑走路が現れてランディングしました。この広大な砂漠の砂やチリが黄砂となって春には日本に飛来するのだと納得しました。

ホータンは崑崙山脈の雪解け水が流れるため、綿畑や水田が賽の目に美しく広がり、道沿いにはブドウ畑が続くオアシスというイメージを持っていましたが、実際はちょっと埃っぽい、松山市のような都市です。周辺部の民家には道路沿いに水路があり、雪解け水が流れるというのがオアシスらしい光景でした。

2.2 トイレ事情

ホータン空港ターミナルはボーディングブリッジを備え、見た目こそ松山空港と変わらない建物ですが、トイレに行ってビックリ。扉はあるものの閉まらない、鍵も掛からない。飛行機から降りて来た人たちは扉を開けっ放しで便器にしゃがみ込んでいました。話には聞いたことがあります、今の時代でも普通にこうやって用を足すのかと驚きです。せめて自分とは壊れた扉



▲食堂のトイレ

を手で締めて持っていました。しかし、まともなトイレはホテルや博物館くらいで、昼食の食堂のトイレはこの世の物とは思えない、裏の物置のような共同トイレで、腰の高さの壁はあるが汚れたまま。それ以外の場所は、トイレそのものがなく、灌木や砂漠の起伏があればその影で用を足すのが習慣です。ガソリンスタンドにもトイレはなく、同乗者は給油中に周辺の空き地で用を足す場所を探しに行きます。



▲マリカワト故城

2.3 紀元頃西域で栄えた于闐国の遺跡

ホータンは新疆ウイグル自治区の南西部に位置し、タラマカン砂漠と崑崙山脈に挟まれたオアシス都市。かつては、玄奘（三蔵法師）もここを訪れましたが、古くから玉の産地で、絨毯も特産品として有名です。しかし、日本人には馴染みの無い所で、シルクロードや西域諸国に興味がある人以外は知る人は希なくらいです。そこに日本人観光客がいるという現実も不思議にも思えました。

ホータンの見所はマリカワト故城で、于闐国の故城はどんな物かと郊外の砦跡に向かいました。道なき道を延々と進み、コルンカシュ河の河岸を上流へオアシス集落を抜けて行くと鉄門扉が現れます。そこには門番の男たちがおり、やがて遺跡まで乗って行けという三輪オートバイトラックが何処からともなく集まってきました。遺跡までは1km以上あって、炎天下の中、歩いて行くのは大変なので、ガイドが交渉してそのバイクトラックに乗せてもらいます。もう一組日本人夫婦の観光客もいて、同様に乗りました。

他に、石ころのようなものをいっぱいビニール袋に入れてきて、「どうだ、この河で取れた玉を買わないか」と商売をはじめめる者まで現れました。



▲遺跡入口の鉄扉



▲玉売り



バイクトラックの荷台で揺られてしばらく砂漠の中を歩きますが、遺跡らしいものは無く岩山と土塊がぼつぼつと見られました。ひょっとしてあれが遺跡？と思えますが、それ以外には何も無く、「兵どもが夢の跡」だなあ。予想と違ったその光景に衝撃を受けます。そう言えばガイドブックには“現地の人はあまり行かない”と書いてありました。



◀ ヨートカン遺址
▼ 特産品絨毯の製造工場



続けて訪れたヨートカン遺址もガイドブックには載っているものの地元の住民も知らないような所で、出会う人出会う人に尋ねてやっと行くことが出来ました。遺跡周辺の道は碁盤の目に整備されていますが、それほどまでに荒れ果てていて、今は竹藪の中となっており、よくもまあ地球の歩き方はここをスポットとして掲載しているな、と驚きました。もう忘れ去られたのか、あるいは未調査で国も管理している様子も無く、放置された故城の痕跡でした。

その後、ホータン博物館を見学しユルンカシュ河を越えた所にあるホータン絨毯工場を訪れました。ホータン絨毯は2600年以上の歴史ある特産品で、結構手間がかかっています。工場は大きな建物で、上から白い糸が下へと張られていて、設計図に合わせて2、3人組で女性が様々な色の糸を織り込んでいました。

③ “世界の屋根”パミール高原とカシュガル(喀什)

3.1 カシュガルを目指し西域南道に行く

5月1日、朝ホータンのホテルで食事を済ませ、西域南道を車で西のカシュガルへ向かい、そこから“世界の屋根”パミール高原を目指します。小学生の頃パミール高原を知り、「いつか行ってみたいな」と思った記憶がありますが、本当に行けるなんて信じられない。丁度、玄奘がインドから仏典を長安へ持ち帰る際に、カラコルム山脈の世界で最も高いクンジュラプ峠を越えた道です。このエリアは一带一路とは外れていて、ハイウェイは無く、カシュガルまでは一般道で向かいました。

ところが、このルートは外国人が通行することは希で、ホータン出口の検問所で車から降ろされ、パスポートの提出や写真を撮られた後、ずっと警察が我々の車を先導するというのです。“警護”という理由ですが、実際は監視なのでしょう。



▲ 公安の先導

▼ 西域南道を西へ向かう





▲ 西域南道で建設中の新しい都市

5、6台のパトカーが約1時間ごとに先導を交替してヤルカンドまで行きました。パトカーが前を走るため時速は50km/h程。大きな荷物を積んだ大型トラックや乗用車は我々を数十キロオーバーの猛スピードで追い越していきます。パトカーはそのたびに警告したり、マイクで叫んで注意しますが、一般ドライバーは無視。

この頃から、検問は漢族がウイグル族を支配するための嫌がらせだということがわかってきました。1回の検問所で30分以上銃剣を突きつけられて拘束されますが、パスポートを提出しているので勝手に立ち去ることもできません。以前、アルジャジーラTVでオレンジ色の服を着せられ銃剣を突き付けられている映像を見たことがあります。まさにそんな状態です。一方、漢族は身分証明書を見せればすぐに通過できるという、なんとも腹立たしい状況なのです。

途中、砂漠の中に建設中の都市を発見！

すべての建物が工事中で、まだ人は住んでいない雰囲気です。現在、中国領土の西5分の2にウイグル族をはじめとする少数民族3千万人程が住んでいますが、そこへ漢民族1億人を移住する国家的プロジェクトが実施されており、その一環で砂漠の中に新都市建設が



▲ アズナミシティ・ミージー

進行していました。それによって少数民族の広大な土地を漢民族の支配下に置こうとするためのもので、100万人が暮らす都市を砂漠に100カ所造るようなイメージです。

途中、ヤルカンドではサイド・ハン陵墓やイスラム教モスク、アズナミシティ・ミージーなどを見学。ヤルカンド市内は、近年の暴動のせいであちこちにパトカーが走り回っていて、どこを見てもパトカーだらけでした。ホータンからカシュガルまでは車で丸一日かかりました。



3.2 美しい湖に滑り込むカラコルム・ハイウェイ

翌朝、パミール高原のカラクリ湖へ向かいます。カラクリ湖はカラコルム山脈のムズターグ・アタ山(7546m)とコングール山(7649m)の山麓草原にある湖で、キルギス族がこの辺りに住んでいて、この先はパキスタンなので山岳風景に期待が膨らみます。このパミール高原を越える道はシルクロードの一部で、玄奘もこの景色を見たのかと思うと、経典伝来の史実がリアリティを帯びてくるようでした。

しかし、車でここまで行くのですが国境地帯のため厳しい監視体制で、速度も50km/hに制限されていて、監視カメラでチェックされていました。ドライバーもそのルールを厳守し、ゆっくり進みます。それでも漢民族の高級乗用車はバンバン飛ばして追い越していく矛盾を腹立たしく思いながら、国が違えば公平とか平等とかいう言葉も無意味で、こうも違うんだということを受容せざるを得ないのです。まあ、民主主義国家でないところなので、差別は当たり前がありました。



▲カラコルム・ハイウェイ



▲標高4000mちかくにあるカラクリ湖

3.3 カシュガル市内観光



▲カシュガル旧市内の職人街

夕方、カラクリ湖から市内へ帰ってきて、旧市街を巡りました。そこでは通りの両側に同じような色の建物が並んでいて、例えば楽器や民芸品、日用品など様々な物を作る職人街となっています。その建物は日干し煉瓦を積上げ、左官が地元の壁土を塗って仕上げているためどれも同じような色の外壁で、もし地震が来たら目茶苦茶に崩壊が心配される造りです。しかし街中では幼い子供たちがたくさん遊んでいて、将来カシュガルはまだまだ発展しそうな活気を感じました。



▲アパク・ホージャ墓 (香紀墓)

最終日、カシュガル出発は夕方なので、それまで市内観光をしました。

カシュガルの朝は遅く、モスクのようなアパク・ホージャ墓を訪れたときにはまだ誰もいなくて、開館の準備中。16世紀末の新疆イスラム教白帽派の著名な指導者アパク・ホージャとその家族(5代72人)の墓で、中には52の墓標がありました。乾隆帝のウイグル人妃子であった香紀(容紀)がここに葬られたと誤



▲エイティガール寺院



▲寺院回廊の礼拝所

伝されたため、香紀墓とも呼ばれています。

その他、新疆最大のイスラム教モスク・エイティガール寺院やユスフ・ハズ・ジャジェブ墓などを見て、新疆各地から物資が集まるという国際バザールへ行きました。バザールというとテントの下に出店が並んでいると思っていましたが、実際は大規模な商店街をいくつも並べたように広々としていて、果物や衣類など生活必需品を中心とした取引が行われており、ウイグル族の生活の一端を知ることができました。



▲カシュガルの国際バザール

3.4 カシュガルからの機内での出来事

市内観光を終えて空港へ向かい、主な日程は終了です。北京までの飛行機の座席は窓側でしたが、シートは3人掛けで、隣にはウイグル人の女性が乗り込んできました。この方、座席に腰を下ろすと、すぐに靴下を脱ぎはじめます。何だか、嫌な予感がしましたが、次の瞬間から殺される程臭い足の香りが席一帯を埋め尽くしました。息が出来なくなるかと思ったくらいで、ビックリ。

飛行中トイレに行くので前を通して欲しい、と言うと、この方、なんと素足のままで座席の上に立ち上がられたのです。一瞬、お国の違いというか民族の違いを感じましたが、耐えられない香りでおかしくなりそうだったのは忘れることができません。きっと普段から靴下をはかない暮らしをされていたのでしょう。もともと遊牧民ですから。

カシュガルを午後4時に出たのに、北京に到着したのはもう日が変わる頃でした。

4 オアシスの旅を終えて

長いようで短かった新疆ウイグル自治区の旅、日本へ帰ると思うとホッとしました。カシュガルで飛行機に乗り込んでしまえば、もう現地警察に拘束されて日本へ帰れなくなるという不安が払拭され、安堵しました。自分にとって古の憧れだったシルクロードは、ウイグル族をはじめとする少数民族が、この広い砂漠を舞台に独立したいという願望と国家の弾圧、歴史的にイスラム色の強い東トルキスタンが中国に取り込まれたことが、この地域とウイグルの人々にとって仕合わせだったのかを考えさせられる旅となりました。

文化財・まちづくり委員会

文化財・まちづくり委員会 委員長 峰岡 秀和

令和2年度活動報告

1. 委員会全体会議とZOOM会議

前年度の活動報告と今年度事業内容の検討、担当者の決定及びコロナ禍における会議の方法について話し合った。

令和2年7月17日17時30分～19時

13名出席（委員12名+代理1名）

ZOOM会議：毎月約2回開催のほか、部会での会議を行う。計24回（年度末まで）

2. 5部会の活動

(1) 街中（空き家）部会

各市町の空き家対策について調査、状況把握など。士会HPにて菊池清治邸（八幡浜市）見学会の紹介。

(2) 歴史・文化財部会

11月NIPPONIAホテル・松井家見学及び勉強会を開催予定だったが、コロナの影響により中止。ZOOMを使った見学会を予定。

(3) 防災部会

女性と防災の会への参加。シェイクアウト愛媛について一般会員へ呼びかけ。

(4) 福祉部会

一般会員に対し、10月7日、児童福祉施設「なかまたち」「ポレポレウインカル」（ともに四国中央市）での見学を開催。



ポレポレウインカルにて、見学会後の集合写真

(5) 景観部会

愛媛県各市町村の景観条例の調査。

3. まちづくり委員長会議

中四国まちづくり委員長会議は愛媛県での開催予定であったが、コロナの影響により断念。全国まちづくり委員長会議も中止となった。

4. ヘリテージマネージャー

愛媛県建築士会で行われたヘリテージマネージャー講習会の修了生について、どのような形でこれから連絡を取っていくのかを文化財まちづくり委員会 歴史・文化財部会で検討。現在も検討中。

全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会「WEBを利用したメンバーとの情報交流会」が3月28日、ZOOMにて開催。峰岡が出席。

令和3年度活動予定

- 委員会全体会議 7月16日開催予定
- 街中（空き家）部会
「良質な建築・美しいまちづくりの仕組み、萌芽事例シート」を一般会員、賛助会員、ヘリテージマネージャーに向け募集
- 歴史・文化財部会
WEBを利用した見学会を検討中
- 防災部会
WEBを利用した防災の勉強会を検討中
- 福祉部会
介護保険の事例報告や設備の紹介を検討中
- 景観部会
「まちづくり景観写真コンテスト」を実施

女性委員会より報告とお知らせ

女性委員会 委員長 近藤 佳代

令和2年度は、コロナ禍により様々な大会や勉強会等が中止となりました。特に愛媛県で開催予定だった中四国ブロック大会は、9年に1度の自県開催ということもあり楽しみにしていた会員の方も多かったのではないのでしょうか。社会情勢を考慮し、苦渋の決断としての中止でした。これまで中四国ブロックえひめ大会の開催にあたり入念に準備をしてこられた会員の皆さま、お疲れ様でした。

さて、従来であれば年度末に開催予定だった女性委員会もコロナ禍の影響により開催できず、急遽5月中旬に書面委員会というかたちで委員会を開催しました。昨年度の実施済事業及び決算の報告と今年度の事業予定と予算について審議しましたが、全会一致で承認となりました。そのうち昨年度の事業報告と今年度の予定を報告いたします。

(1) 令和2年度実施済事業報告

・予定どおり実施したもの

- 6月 中四国ブロック青年・女性連絡協議会理事会
(zoom会議 2名参加)
- 7月 第1回女性委員会(建築士会館会議室 9名参加)
- 10月 中四国ブロック青年・女性連絡協議会理事会
(zoom会議 2名参加)
- 11月 第2回女性委員会(zoom会議 7名参加)
全国女性委員長会議(zoom会議 2名参加)
三津浜地区見学会(セルフ方式)
中四国ブロック青年・女性連絡協議会臨時理事会
(zoom会議 2名参加)
- 2月 第3回女性委員会(zoom会議 11名参加)
顔ヨガ体験セミナー(zoom開催 10名参加)

・やむを得ず中止になったもの

- 青年・女性建築士の集い中四国ブロックえひめ大会
- 女性委員会総会
- 全国女性建築士連絡協議会(全建女)
- スキルアップセミナー、異業種勉強会、新年会 等

(2) 令和3年度実施予定計画(抜粋)

- 6月 中四国ブロック山口大会(中止)
第2回女性委員会
女性委員会総会
- 8月 防災勉強会(一般参加型) 松山市
第3回女性委員会
- 9月 全国女性建築士連絡協議会(福岡・web)
- 11月 南予地区見学会
全国大会広島大会(女性委員会セッションで発表)
- 1月 第4回女性委員会
新年会
スキルアップセミナー(一般参加型)
- 2月 暮らし+勉強会(一般参加型)
- 3月 第5回女性委員会

例年女性委員会では年に4回程度各種勉強会等を開催していますが、昨年はそのうち見学会と暮らし+勉強会(顔ヨガ体験セミナー)のみの開催となりました。また、委員会や中四国ブロック理事会も数回開催されましたが、昨年度実施済事業のうち、実際に対面で開催できたのは7月に開催された女性委員会のみでした。なかなか会員相互の交流をすることができず、残念な1年でした。

今年度もコロナ禍の状況によっては事業内容に変更があるかもしれませんが、会員相互の交流を深め、互いに高めあえるような勉強会等を企画・実施していきたいと思っておりますので、皆さまご参加ください。なお、女性に限らず男性会員の参加も大歓迎です。

女性委員会の活動に対し、日ごろからご理解・ご協力いただいている会員の皆さま、ありがとうございます。これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

「いしづち」編集委員会より お知らせ

広報委員会 委員長 大平 将司

「5月号編集後記」にて、皆さんにもお知らせしてまいりましたように、『けんちくの輪』にご投稿いただいた、特に若い世代の投稿者の方がたより、身近には既に投稿済の方ばかりで、バトンを引き受けてくださる方が見つからず（立場的にも依頼し辛く）困られているとの相談をいただきました。

「いしづち」投稿依頼が、そのように憚れているような事かと思うと、編集者の立場として複雑な気持ちです。

広報委員会にて検討の結果、各支部の長の方のお力をお借りする事が一番スマートな解決方法ではないかとの結論に至りました。

また、今までのルールを少し緩めて解釈し、必ずしも投稿したことがない会員に限らないものとして、候補者の選択の幅を広げさせていただくものと思いたいと思います。

まずは、まだご了解は得ておりませんが、途絶えてしまったバトンを赤根会長から新規にスタートしていただき、11月号から各支部廻しとして、投稿者指名を支部長様に委ねる事にさせていただきたいと思っておりますので、各支部長様よろしくお願ひします。

しかしながら、右記一覧表でもお分かりになるように、現在117名の方に投稿いただいている状況ですので、愛媛県建築士会全体からみても、まだ9割以上の方が未投稿の現状です。

たまたまご指名がなかっただけで、もしご指名があれば快くお引き受けいただけたいという方は、たくさん埋もれているものと信じております。

皆さんの周りには、まだまだ『けんちくの輪』候補者は潜在しているのではないのでしょうか？

幸いにも、もう一つの『けんちくの輪』のバトンルートは、まだ続いておりますので、引き続き、出来る限りバトンリレーを続けさせていただきたいと思ひます。

これからも、もし若い会員さんからのバトンリレー依頼があった場合には、快く救いの手を差し伸べていただけますよう、よろしくお願ひします。

歴代『けんちくの輪』投稿者一覧

けんちくの輪	氏名	支部	氏名	支部
2011.7	井関 克徳	西予		
9	武内 邦彦	松山		
11	寺尾 保仁	四国中央	小原 文子	松山
2012.1	松本 一師	松山	西浦 郁子	松山
3	兵頭 岩見	宇和島	佐々木幸子	松山
5	森川 晴喜	宇和島	石丸真智子	今治
7	山田 宏	松山	大西 直子	宇和島
10	松平 定真	松山	藤本 恵子	松山
2013.1	曾我 真企	西条	田中 明美	宇和島
4	青陽 孝昭	今治	太田 陽子	松山
7	石村 卓也	四国中央	白石 耕平	今治
9	大平 将司	伊予	越智 麻衣	新居浜
11	和田 卓巳	新居浜	国宇順一郎	西条
2014.1	山内 真一	西予	山本 宏	西条
3	宇都宮勇夫	八幡浜	宇佐美金正	西条
5	高橋 芳明	八幡浜	首藤 忠夫	周桑
7	氏間 貴則	八幡浜	木村 久司	周桑
9	岡田 尚之	大洲	武知 美穂	松山
11	武田 尚樹	大洲	井上 竜治	松山
2015.1	村上征士郎	西予	和田 崇	松山
3	亀岡 泰治	宇和島	西森 勉	松山
5	二宮 正行	宇和島	高橋 朋子	松山
7	酒井 久和	宇和島	赤松 慶隆	松山
9	長岡 康広	松山	近藤 岳志	松山
11	河野 行信	松山	永井 由起	松山
2016.1	一之瀬佳緒理	松山	下元 美恵	西予
3	白石 学	松山	岸 絹子	松山
5	今井このみ	今治	丹生 多美	松山
7	叶 貴美	今治	岸 孝徳	松山
9	松本 友	西予	安藤 雅人	松山
11	土居原幸子	西予	尾藤 淳一	四国中央
2017.1	渡辺 建文	西予	岸 良一	四国中央
3	山本 文義	宇和島	鴻上 八大	新居浜
5	繁木 俊忠	八幡浜	宮崎 秀俊	新居浜
7	山本 晶子	松山	中川 仁	新居浜
9	成松弘之助	松山	政石 信行	新居浜
11	大西 慶	松山	高木 伸幸	西条
2018.1	高須賀範昌	松山	高木 勝将	西条
3	中山百合子	松山	野口 雄司	西条
5	眞田井良子	八幡浜	佐藤 信吾	西条
7	田中 陽子	宇和島	浅野 憲一	新居浜
9	山田 千尋	宇和島	稲村 聡	四国中央
11	内田かおり	松山	受川 亮太	四国中央
2019.1	渡辺亜加里	松山	高橋 智洋	四国中央
3	久保 孝	松山	中尾 忍	松山
5	若松 一心	伊予	柚山 一利	新居浜
7	峰岡 秀和	松山	村上 敦	松山
9	石田 達也	伊予	相原 昌彦	松山
11	重松憲太郎	今治	八束智恵美	松山
2020.1	曾我部 準	今治	大塚美由紀	松山
3	宮田 勝広	松山	山内 知照	松山
5	白石 泰正	松山	門屋 広一	松山
7	汲田章太郎	西条	亀井 浩二	松山
9	佐藤 尚武	西条	河田 大樹	松山
11	今井 洋平	西条	河窪 茂樹	松山
2021.1	佐伯 敏治	西条	大久保仁志	松山
3	越智 通雄	今治	辻川晃太郎	松山
5	新居田明夫	今治	花岡 晶子	松山
7			宇崎 佑	松山

今治支部総会報告及び活動計画

今治支部 支部長 森 昇平

日 時：令和3年5月25日(火) 10:00～
場 所：マルマストリグ株式会社
出席者：6名(委任状 75名)

総会に先立ち行われた理事会は、愛媛県下での新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、愛媛県が独自の警戒レベルを感染対策期へと引き上げたことで、通常開催の予定を直前で書面理事会に変更しました。支部総会開催時に愛媛県の感染状況が下火になっているか、理事会の時点では不確かでした。そのため、昨年度同様総会の規模の縮小や懇親会の中止など、今般の状況ではもはや異例とも思えなくなりつつある形での総会開催となりました。出席者(6名)及び委任状(75名)が正会員(135名)の3分の1以上となり、以下の全ての議事につきまして過半数以上の同意により承認されました。

議 事

- (1) 令和2年度 実施済事業報告(第1号報告)
- (2) 決算報告(第2号報告)
- (3) 監査報告(第3号報告)
- (4) 令和3年度 事業計画案審議(第1号議案)
- (5) 予算案審議(第2号議案)

以上

上記議案のうち、(4)第1号議案の審議においては一昨年度実施した事業と同様の計画としております。一昨年度実施の事業は以下の通りです。

地域実践活動

- ・建築士の日の行事(清掃奉仕活動)
- ・住育活動(おかしのみちをつくらう!)

市内在住の小中学生を対象としたお菓子で家などの建物をつくるイベントです。

スキルアップ事業

- ・建築視察研修会

昨年度今治支部では、上記計画と同等の活動計画を立てておりましたが、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大のため、中止しました。今年は十分な感染対策を講じ実施する予定です。特に建築視察研修会では、昨年度スキルアップ事業として行った「愛媛県産材を使用したCLT普及のためのパンフ

レットの作成」に関連する施設へ、今年度後半に視察に行きたいと考えております。住育活動は例年通り12月を予定しております。

上記に加え、今年度は地域建物遺産調査・顕彰事業として、東京理科大学名誉教授で建築史家の川向正人氏(文化庁 国立近現代建築資料館運営委員)が企画されております。建築系学部の大学生・大学院生に向けての「TANGEから建築を学ぶものへの出題」と題する今治市の丹下建築を課題としたワークショップに協力する予定です。

いまだ新型コロナウイルス感染症の収束の兆しも見えないままに始まった今年度ではありますが、ワクチンの効果に期待を寄せつつ、支部会員・支部賛助会員の皆様と協力して、より良い支部活動ができるよう努力していきたいと思っております。



令和元年7月(清掃活動)



令和元年12月(おかしのみちをつくらう)

松山支部より

松山支部 支部長 花岡 直樹

昨年4月に松山支部の支部長をお引き受けしましたが、その頃から様々な活動が新型コロナウイルス感染防止のための自粛に追い込まれ、通常行われていた行事、活動がほとんどできなかったという残念な一年間になってしまいました。かろうじて実施できた令和2年度の活動の内、主なものを紹介させていただきます。

・支部通常総会

令和2年4月17日、松山建設会館にて開催、28名が参加。新型コロナウイルス感染防止のため、懇親会は中止、寂しい幕開けとなりました。総会后賛助会員の方々を加えての懇親会も開催できませんでした。

・ホームページの改修・整備

対面の会議や、大人数で集まったの行事が出来ないため、ネット上で意見交換や情報の公開が出来るよう、支部のホームページの改修・整備を行いました。改修小委員会を立ち上げ検討を行い、ここ数年アップデートが行われていなかったものを最新版に更新し、スマートフォンでも閲覧できる（これは必須！）ように改修しました。フル活用とはまだまだいきませんが、いろいろな情報や報告が載せられるようになってきています。コロナが収束し元の活動ができるようになってきても、普段直接活動に参加できることが少ない支部会員のためにも、有効に使っていただけるようになればと思っています。どんどん覗いていただき、活発な情報提供をお願いしたいと思います。

・研修・技術委員会に「防災・減災部会」立ち上げ

これまで南地区に東地区が協力する形で行ってきた、耐震模型の作成、模型を使っての防災・減災講座を、研修委員会の内部に防災・減災部会を立ち上げ、支部活動として行うことにしました。残念ながら講座の開催は出来ませんでした。広島県建築士会から耐震模型作成の依頼があり、2月に納品できました。この活動が支部のみにとどまらず、県全体、そして今回のように他県へも広がっていくよう頑張っていきたいと思っています。

・唯一行なわれた会員の集い

いろいろな活動を行うにあたり、会員相互の親睦を深める、ということはとても大切な事です。しかし残念ながら、毎年行われている支部総会のあとの懇親会、夏の支部会員の集い（例年ビアガーデン）、全国大会での懇親などが全く行えず、とても寂しい年となりました。

そんな中、毎年12月の理事会のあとに行われている賛助会員との懇親会を、対象を会員全体に広げて11月

に実施しました。とはいえコロナ禍で大勢の集会や飲食が控えられている影響もあり、42名での開催となりました。ANAクラウンプラザホテルで、出席者の倍以上の定員の部屋を用意していただきました。通常なら丸テーブルに10名、というところを4～5名に抑え、料理も皆で取り分けるのではなく、個別に給仕いただく方式にしました。席の移動は極力控え、テーブル内での会話を楽しむことをお願いした結果、私の長い建築士会活動での懇親会の中で、最も厳かで上品な懇親会になったことを申し添えます。



第2回理事会の様子（11月20日）



厳かに行われた懇親会

以上、とても寂しい活動報告になってしまいましたが、特に残念なのが、「建築士の日の行事」が出来なかったことです。平成21～30年度にかけて10回にわたり行われてきた「建築巡礼inまつやま」に代わって、同31年度より小学校の児童とその保護者を対象として、みんなで建築模型を作る「家づくり体験」を実施したところ、とても好評であったことから今年度も、と思っていましたが実現できませんでした。機会を見て、方法を工夫するなどして何とか実施にこぎつけたいと思っています。

今年度も新型コロナウイルス感染は収束するどころか、3月くらいからは益々猛威を振るい、4月25日からは

愛媛県も「まん延防止等重点措置」の対象県になりました。4月17日開催予定の支部総会については、今年も懇親会を行わない旨が決まっていたのですが、4月に入ってからからの感染拡大を踏まえて役員会で慎重に協議した結果、理事会と総会は支部長、副支部長、各委員長、各地区長と人数を限定して開催する、ということになりました。全会員に理事会・総会の案内を発送してからの決定であったため、一度は出席で返信していただいていた理事・会員の皆様に出席を見合わせていただくという、大変失礼なお願いをする結果となってしまいました。改めて謹んでお詫びを申し上げ、欠席理事の全員、多くの会員の皆様から委任状をいただきましたことにお礼を申し上げます。

以下、総会の内容をご報告します。

<支部総会の報告>

1. 日 時：令和3年4月21日(水) 18:00～18:30
2. 場 所：松山建設会館 2階 会議室
3. 出席者：出席13名(委任状 306名)
4. 黙とう：物故者 2名
5. 開会

井上副支部長より、松山支部正会員528名中、出席319名(委任状含む)で、本総会は支部規約第15条第1項に定める定足数の3分の1以上が出席しており、成立している旨の報告をした。

続いて、支部規約第9条第1項の規定により、花岡支部長が議長となり審議を進めた。

6. 議事

第1号議案 令和2年度事業報告の承認について

第2号議案 令和2年度収支決算の承認について

徳永監事(代理 花岡支部長)より監査報告を行った。

◆議長より、第1号議案、第2号議案について諮ったところ、異議なく議決された。

第3号議案 令和3年度の事業計画決定について

第4号議案 令和3年度の収支予算の決定について

議長より、第1号議案、第2号議案について諮ったところ、異議なく議決された。

第5号議案 その他

渡辺修氏(本会事務局長)が第1回理事会で、理事に選任された旨の報告を行った。

以上、議案の審議等を18時30分に終了した。

このあと特別功労者表彰を行った。

特別功労者表彰：大西勝秀氏

功労者表彰・感謝状贈呈：該当者なし。

特別表彰を受けられた大西勝秀さんには、本会事務局長という立場から松山支部をよく支えていただきました。特にこの1年は、右も左もわからない新米支部長を助けてくださり、感謝に堪えません。事務局長の立場で役員になっているという理由で、これまでこのような推薦をご辞退されてきましたが、退任にあたって感謝の意を表すことが出来てよかったと思います。とはいえ、理事として残っていただくわけなので、これまで同様にいろいろ教えていただき、親しくお付き合いいただきたいと心より願っています。



総会の様子



特別功労者表彰の様子

今年度も新型コロナウイルスの早期の収束も期待できず、昨年同様厳しい年になりそうです。もしそうなったとしても、来年の総会で「コロナのため、何も活動できなかった」との報告をするのではなく、コロナ禍でも出来る活動を模索し、こんな時だからこそ工夫した新しい活動が出来た、という報告が出来るよう頑張っていきたいと考えています。そのためには会員の皆様の、特に若い方々のご協力が必要です。みんなで力を合わせて松山支部を盛り上げていきましょう！

今年度もどうぞよろしく願いいたします。

振り返って思うこと

松山支部 宇崎 佑

花岡さんからバトンを受け取りました、松山支部の宇崎佑です。

私が建築士会へ入会したのは平成最後の年、花岡さんと同年に建築士試験に合格し、そのままの流れで…でした。花岡さんとはその頃から仲良くしてもらっています。まさかバトンが回ってくるとは思わず、油断していました。

入会したばかりの頃は中四国ブロック大会等の活動や親睦会にも積極的に参加し、同職業の方とはいえ、自分とは違うお仕事をされている方々との出会いに刺激をもらっていました。近頃はコロナ禍ということもあって、なかなか皆さんとお会いすることが出来ず、寂しいなあと思っていたところです。



中四国ブロック大会（島根）

私も、いい機会なので自分のこれまでを振り返ってみようと思います。

そもそも、私が建築に関わるお仕事がしたいと思い始めたのは小学校の頃。住宅の設計をしている父の影響でした。父が持ち帰る図面の裏に透けて見える線をなぞって、建物を描いて、ただ漠然と「かっこいい」と思ったのがきっかけです。幼い頃から絵を描くのが苦手でした（美術の才能は妹に全て持って行かれました）が、図面の線や、写生大会で建物を描くのは好きでした。今思えば、父に連れられて建物を見に行くこともよくありました。

そのまま、特に迷うこともなく、流れのままに高校は理系へと進学。大学も工学部を受験しました。大学受験は失敗してしまい、第一志望だった建築学科がある大学へは受けませんでした。大学受験に失敗したときは正直なところ、絶望的でしたが、なんとか建築士試験の受験資格を得られる「安全システム建設工学科」に入学しました。名前からしてよく分からないし、建築学科を目指していたのに、入学したのは土木色の強い学科…。建築コースは有りはしましたが、設計やデザイン系の授業は少なく、ほとんどが測量やコンクリート試験、河川・海洋工学の実験、地盤工学と、土木系ばかり。このままで建築のお仕事ができるのかなと不安も抱きつつ、キャ

ンパスライフはしっかり満喫し、卒業。縁あって新企画設計へ入社し、今に至ります。



河川工学実験の様子



地盤工学実験の様子

入社して思ったことは、大学での勉強や研究は、必ずしもそのまま役に立つ訳では無いんだな、ということでした。私の場合は、業務において、設計やデザインの知識だけではなく、大学で学んだ測量や河川工学、地盤工学の知識が役に立ったことも多くありました。会社の先輩たちにもよく言われて来ましたが、本当に幅広い知識が必要で、無駄な知識なんて無いんだな、と身に沁みて感じます。特に私の会社では医療・福祉施設や教育施設、商業施設等、様々な用途の建物を設計するので、大学での勉強に限らず、日常生活で目にするものまでもが、役に立つこともあります。

「いしづち」の読者様にどのような方がいらっしゃるかわからずに書いていますが、もし、建築の仕事がしたいけど迷っている方がいたら、思い切って飛び込んでみて欲しいです。建築学科にこだわらなくても、いろんなアプローチから建築のお仕事に携わることができると思います。これまで建築に関係のない勉強やお仕事をしてきたから……理系じゃないから……といった理由で諦める必要は無いと思います。むしろ、それらの経験や知識が活かせることも、たくさんあると思います。

偉そうなことが言える立場では無いけれど、大学時代に不安な思いをしていた過去の私に言ってあげたいと思ったことです。

入社して8年目、実は、今年で30歳という節目の年になりました。まだまだ若手とは言われるものの、入社当時のピュアでフレッシュな頃とは違い、勢いだけではなく実力も問われる世代だなど、しみじみ感じる今日この頃です。この投稿を機に、初心を忘れず、さらなる飛躍を目指して、日々のお仕事に励もうと思います。

次回は、バトンをお渡しする人がなかなか思い浮かばず、途方に暮れていたところ、快く引き受けてくださった渡邊道彦さんにお繋ぎします。

よろしくお願いします！

あなたの原稿をお待ちしています。

公益社団法人として、異業種や全ての皆様から建築士会の枠を超えて原稿を広く募集して広く購買して頂くようにしています。是非、寄稿して頂きますようお願い致します。本年度は年6回発行となります。(尚、営業的色彩の濃いものにつきましては、掲載されない場合もありますので、ご了承ください。)

「いしづち」の本年度の原稿締切日

令和3年 9月号 (142号) 令和3年7月30日(木)

※校正印刷の関係で締切延長の最終期限は一週間後の木曜日とします。

※1ページ写真込みで2150文字(25文字×43行×横2段)のWORD様式を事務局で用意していますのでご活用ください。

写真は1ページ当たり3枚程度まで題名を付けて添付してください。

また宜しければ投稿者の写真(免許写真程度の顔写真)を添付してください。

会員の皆様のご参加をお待ちしております。また記事等についてのご意見・ご感想もお寄せください。

(尚、投稿された原稿につきましては、要旨を変えない程度の若干の訂正等を加えることがあるかもしれませんので予めご了承ください。)

この誌面を通じて、会員の方々、そして一般の方々にも、建築についての対話等の輪が広がればと願っています。
情報・広報委員会

読者の声欄

「いしづち」に関するご意見・ご提案などをお寄せください。お待ちしております。

「いしづち」編集委員会(士会事務局内)宛
FAX 089-948-0061

編集後記

新型コロナウイルス感染防止の観点からWEB会議の講習会を実施予定しておりましたが、開催日がまん延防止期間だったため延期といたしました。参加を予定されていた方にはご迷惑をおかけいたします。

今後、実施日を決めまして、改めて参加者の募集を致します。

WEB会議の講習会では、お持ちのスマホやパソコンを使い、情報委員のメンバーがワンツーマンでZoomの使い方をお教え致します。

再度、参加を検討してください。

〈いしづち〉2021/7

令和3年7月発行

発行人 会長 赤根良忠

発行所 公益社団法人 愛媛県建築士会

〒790-0002 松山市二番町四丁目1-5 愛媛県建築士会館2F

TEL(089)945-6100 FAX(089)948-0061

<http://www.ehime-shikai.com>

印刷所 アマノ印刷株式会社

情報・広報委員会・広報委員

委員長/大平 将司 副委員長/渡邊 道彦

編集委員/赤松 慶隆 門屋 広一 成松弘之助 西森 勉 花岡 晶子